

事業名	畜産セーフティネット対策緊急強化事業	新規・改善・既定 国庫・県単	課名	畜産振興課
1 事業の目的・背景 燃油・穀物相場高騰などの影響により、配合飼料価格の高騰が続く中、配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金相当額の一部を支援し、厳しい経営環境にある畜産農家の経営安定を図る。 2 事業の概要 (1) 予算額 333,856千円 (2) 財 源 国庫(臨時交付金) : 333,856千円 (3) 事業期間 令和4年度 (4) 事業主体 一般社団法人 宮崎県配合飼料価格安定基金協会、 宮崎県経済農業協同組合連合会、宮崎県南部酪農業協同組合、 霧島ビーフ農業協同組合 (5) 事業内容 ○ 畜産セーフティネット対策緊急強化事業(定額) 332,800千円 配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金相当額の一部を支援し、畜産農家の経営安定を図る。 ○ 推進事務費(定額) 1,056千円 3 事業効果 畜産農家の負担軽減を行うことで、経営の安定が図られる。				

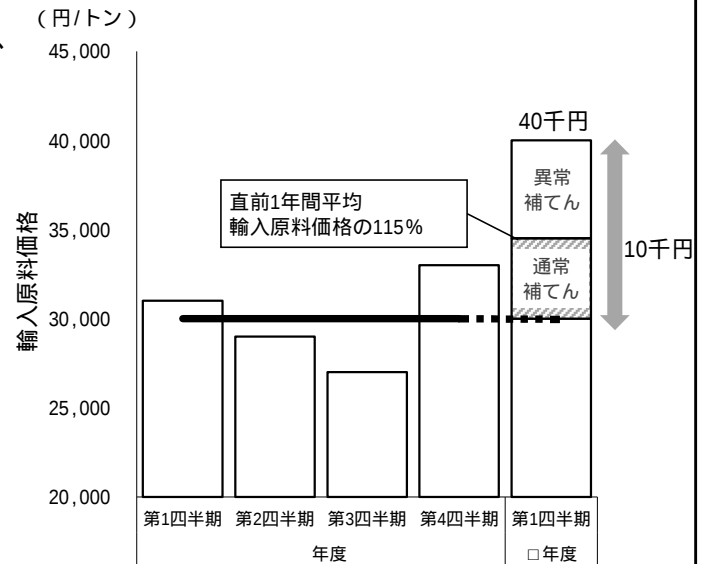
畜産セーフティネット対策緊急強化事業

現 状

飼料穀物の国際価格の上昇により配合飼料価格の高騰が続き、配合飼料価格安定制度の補てん金が連続して発動。

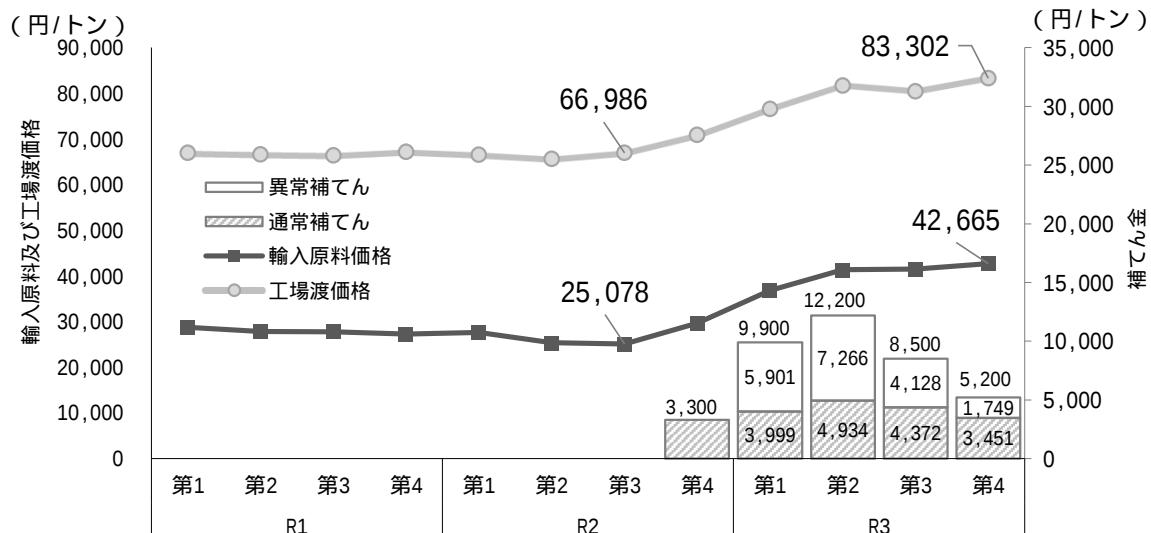
1 配合飼料価格安定制度の仕組み

- 畜産農家の経営に及ぼす影響緩和のため、生産者と飼料メーカーが積み立てる「通常補てん基金」と、国と飼料メーカーが積み立てて通常補てんを補完する「異常補てん基金」の二段階で、生産者への補てんを実施。
- 発動条件
通常補てん基金
輸入原料価格が直前1年間の平均を上回った場合
異常補てん基金
輸入原料価格が直前1年間の平均と比べ115%を超えた場合



2 配合飼料価格及び補てん金の推移

- 輸入原料価格の上昇により、配合飼料工場渡価格が上昇
【配合飼料工場渡価格】令和2年度第3四半期 66,986円/トン 令和3年度第4四半期 83,302円/トン



- 補てん金は、令和2年第4四半期から連続して発動しており、基金の残高不足を補うため、令和4年度からの生産者積立金を増額
【生産者積立金】R3：400円/トン R4：600円/トン

事業の内容

配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金相当の一部を支援

畜産農家の負担軽減を行うことで、経営の安定が図られる。